

第2号議案 令和5年度事業報告承認に関する件

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になったことから、社会全体が脱コロナの様相を呈し、各所で人々の流れやにぎわいが戻った感はある。愛知県社会保険労務士会（以下「本会」という。）の会務においても、ほぼコロナ前の事業執行に戻り、会議や研修では会員同士の感染予防措置を講ぜず実施できるようになり、本会並びに支部の事業運営においては主要な会務のほとんどを執行できた年度となった。

本会事業では、令和5年度通常総会において承認された事業計画に基づき、全国社会保険労務士会連合会（以下「連合会」という。）と密接な連携のもと会務を進め、概ね事業計画どおりにほぼ完遂した。なかでもコロナ禍で培ったオンラインを用いた会議や研修を常態化し、各部各委員会の事業において更なる展開を図り、新しい執行体制の確立を見た。

主な事業は以下のとおり。

1. 加速するデジタル化の推進では、国のデジタル化戦略に乗り遅れないよう本会においてもデジタル化を推進させた。会議ではWEBを用いた開催をほぼ常態として開催した。また、本会ホームページ会員サイトの充実を目的にその再編に着手し、一部テスト運用を開始した。新会員サイトの運用は令和6年度からとなるが、サイト内に決裁システムを導入する等、会員利用者の利便性の向上を主眼に進めた。更には、各種研修等、従来の紙のみの申込方法からスマートフォンやパソコンを用いた電子送信による方法への切り替えを一層進め、研修形式においても対面研修からオンデマンドとの併合等デジタル化を推進し、会員の利便性の向上に努めた。
2. 研修の充実では、会員の資質向上となる研修は社会保険労務士業務の遂行に不可欠なものであるため、会員からの多様な要望にも応えるかたちで各種テーマを設定し、本会研修、専門コース研修、そして各部各委員会が行う研修と、テーマの幅を広げ、研修の量と質の向上に努め、中部地域協議会主催の研修を支援する等、研修の充実に努めた。

研修の受講形式ではオンラインを有効に活用し、オンデマンド研修やeラーニング研修を中心に据え、一部対面の方が充実する研修では従来型の集合形式も採用しながら、絶えず内容の見直しを行い、会員の受講ニーズの最適化を図った。

また、支部オンライン研修支援金制度を活用して支部研修の共有化を進めた。同時に中部地域協議会の行う研修も共有化を図り、会員の研修受講に対し、ニーズに応じた内容と受講機会の拡大に努めた。

全体研修では、医療労務コンサルタント養成研修並びに同フォローアップ研修と特定社会保険労務士への能力担保研修、そしてインボイス関係の研修会を実施し、従来からの会員社会保険労務士の能力担保や職域拡大となる研修に加え、税務行政への理解に深める研修を実施した。

そして、認定スタディグループ支援制度では、登録グループ数が増加し、会員の自己研鑽を支援するとともに研修参加の間口を広げ、会員の研修への一層の受講活用を目指した。

3. 委託事業を通じての行政等への協力では、年金事業部において、かねてより課題となっていた年金事務所での年金相談委託業務における相談業務要員の新たな従事者候補の養成、補充、研修等教育の機会など、現状で抱える諸課題を解消するため一つずつではあるが実質的な検討を重ねた。特に年金相談事業の従事者を対象にしたスキルアップとなる研修事業に傾注し、今後の委託事業を通じての行政等への協力について信頼性の積み重ねに努めた。

一方では、関係行政機関等とも連携し社会保険労務士業務の推進に努め、相互信頼関係の維持推進を図った。

4. 社会貢献につながる業務の拡大においては、本会事業の大きな柱の一つであり、学校への出前授業や病院等でのがん患者への就労支援事業を引き続き実施し、件数的にはほぼコロナ禍前まで

回復した。依頼先となった教育機関や病院には会員が講師や相談員として誠実に対応した。また、産官民提携講座に基づく寄付講座も従来型の対面講義により実施した。

更には、地方自治体との災害協力協定の締結では、各自自治体と調印を進めることができた。

5. 職業倫理の研鑽では、現在、倫理研修は連合会主導で行われており、受講対象者はeラーニング方式により受講する方法となっているが、本会としては、社会保険労務士業としてのコンプライアンス（法令遵守）と職業倫理に徹した業務遂行の重要性に鑑み、倫理研修時にパソコンが不慣れな受講者に対しての支援や、定期に開催している新入会員を対象とした入会オリエンテーションの場等で職業倫理の重要性を説き、その他、業務基礎研修等必要に応じ、社会保険労務士の信用・信頼の維持、向上のため職業倫理の徹底を図った。

6. 勤務・その他会員と開業（社員）会員との連携の強化では、勤務等部の活動により、勤務等会員の事業参加と開業（社員）会員との交流の連携強化、そのことが勤務等会員の地位向上につながることで、勤務等部の活動が本会の一層の活性化を期待するものだが、交流会ではその道の専門性に優れた講師によるセミナーを開催し、開業（社員）会員とも受講会員の意識改革を図り、勤務等会員の新たな可能性や活路を提案する等、本会事業に一石を投じるものとなった。

7. 本会業務協力時の環境整備についての検討では、WEBを用いた会議を常態化し、会議構成員の移動の軽減と利便性の向上を図り、会務の停滞を防ぐことに努めた。

また、本会や支部への業務協力時の在り方においては、前年度より検討を進めてきた会議出席時の会議構成員への手当支給に関し、会則改正並びに関係規程を整備し、本会及び支部の業務に貢献する会員へのサポート支援としての一定の金銭的支援が可能となった。これにより、将来、会務運営に従事する人材の安定的な確保と新旧役員のスームスな継承を目指す。

8. 関係団体との連携の強化においては、愛知中央SR経営労務センター（以下「中央SR」という。）、愛知三河SR経営労務センター（以下「三河SR」という。）、一般社団法人社労士成年後見センター愛知（以下「成年後見センター愛知」という。）、株式会社あいち社労保険センター（以下「株あいち社労保険センター」という。）とは、関係団体連絡協議会等を通じ、各々の団体の活動について理解を深めた。特に株あいち社労保険センターとは幾度と協議会を開催し、相互の意思疎通を図り両者の利益、発展となる成果を確認した。

また、士業団体との意見交換会を通じ、関係の維持強化と社会保険労務士制度のPRに努めた。

9. 成年後見センター愛知の事業の充実と支援では、成年後見センター愛知の設立の目的（「高齢者、障害者等が自らの意思に基づき安心」して日常生活ができるように支援し、もって高齢者、障害者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与する。）に鑑み、本会としてその活動を支援した。

10. 会館の維持管理においては、会館の建物設備等の点検や必要な補修等を行い、将来に向けた会館の維持管理に努めた。

11. 会館の健全な運営では、今後の会館運営の方向性が会員にとって最善の選択となるよう、本会の資産・財産である会館の健全な運営について審議した。会館運営特別委員会では、会館の将来を見据えて建物の耐震性等を審議した。

一方、株あいち社労保険センターとの協議会においては、会員等の会館駐車場利用や家賃等について協議し、家賃の改定や駐車場利用ガイドラインに添った会員の駐車場利用が可能となった。

12. 広報活動の更なる充実と事業展開においては、伝達ツールやチャンネルを見直し、駅のコンコース等に設置されている電子広告版の利用や電子媒体による広告等、最近の傾向であるビジュアルやWEB系に比重をおく広報を検討し、効率や効果を重視した広報を展開した。

13. 連合会事業への協力では、本会と連合会との密接な連携のもと、街角の年金相談センター名古屋及び栄の管理運営や委託事業として企業主導型保育事業における労務監査、倫理研修の受講支援等、連合会が実施する各種事業の運営に協力した。

14. その他の事業において、個別の事業として社会保険労務士法制定55周年記念事業や入会オリエ

ンテーション等、事業計画案のとおり遂行した。

以下、本会並びに各部、各委員会が企画した事業計画に基づき会務を推進した。

I 本会会議

1 総会

- 通常総会 開催日時 R5. 5. 30 12:00～17:53
開催場所 名古屋観光ホテル 3階「那古」
出席者数 代議員197人（構成員200人中会場出席者183人、議決権行使書及び委任状提出者14人、欠席者3人）、役員・傍聴等89人、来賓18人（合計290人）
- 議 事 第1号議案 会則の一部改正案審議に関する件（承認）
第2号議案 令和4年度事業報告承認に関する件（承認）
第3号議案 令和4年度決算報告承認に関する件（承認）
第4号議案 令和5年度事業計画案審議に関する件（承認）
第5号議案 令和5年度収支予算案審議に関する件（承認）
第6号議案 役員選任に関する件（承認）
- 懇親パーティー 開催日時 R5. 5. 30 18:15～19:45
開催場所 名古屋観光ホテル 2階「曙」
出席者数 会員等130人、来賓99人（合計229人）

2 理事会

理事会を7回開催した。開催場所は本会（社会保険労務士会館）会議室を使用した。（以下、本会（社会保険労務士会館）会議室を使用した場合はその記載を省略する。）

- ◇第1回（WEB併用）R5. 4. 21 15:00～16:25 出席50人（うち委任4人）（構成員54人、以下同じ）
1. 令和5年度通常総会の運営について
 2. 令和5年度通常総会議案書及び上程議案について
 3. 会則改正案の上程について
 4. 令和4年度事業報告及び同収支決算について
 5. ㈱あいち社労保険センターの家賃の改定について
 6. 令和5年度事業計画案及び同収支予算案について
- ◇第2回 R5. 5. 30 16:25～16:35 出席51人 名古屋観光ホテル「桂」
1. 副会長の選任について
 2. 専務理事の選任について
- ◇第3回（WEB併用）R5. 6. 14 14:00～16:55 出席48人（うち委任5人）
1. 名誉会長の委嘱について
 2. 常任理事の選任について
 3. 部長・委員長の選任について
 4. 副部長・副委員長の選任について
 5. 各部・各委員会構成員の選任について
 6. 会館駐車場の舗装修繕について
 7. 今後の研修案内の取扱いについて
- ◇第4回（WEB併用）R5. 9. 20 15:00～16:20 出席54人（うち委任5人）

1. 理事の補充選任について
2. 会議出席謝金の支払いに係る財務部方針について
3. 会館駐車場の利用促進策について

◇第5回（WEB併用）R5. 11. 22 15:00～16:50 出席53人

1. 部員の交代について
2. 謝金支払細則の制定について
3. 役員旅費規程、会議費用弁償取扱要領、代議員選出基準細則の改正について
4. 会館電気設備の修繕について
5. 令和6年度のADR諸手数料について

◇第6回（WEB併用）R6. 1. 24 13:00～15:40 出席54人（うち委任5人）

1. 能登半島地震への義援金支援について
2. 本会HP会員サイトのリニューアルについて
(協議)
 1. 令和6年度事業計画案について
 2. 令和6年度の財務編成方針について
 3. 各部各委員会の令和6年度事業計画案及び同予算案について
 4. 令和6年度通常総会の準備等について

◇第7回（WEB併用）R6. 3. 19 15:00～16:50 出席53人（うち委任3人）

1. 能登半島地震における中地協としての義援金支援について
2. 謝金支払細則の改正について
3. 第3・4会議室のマイク設備の整備について
4. 令和6年度通常総会の運営（スローガン）について
(協議)
 1. 令和6年度通常総会の運営（次第、会長褒章予定者、進行予定）について
 2. 令和5年度事業報告及び令和5年度決算見込みについて
 3. 令和6年度事業計画案及び同予算案について

3 常任理事会

常任理事会を5回開催した。

◇第1回（WEB併用）R5. 6. 14 14:30～14:55 出席19人（構成員20人、以下同じ。）

◇第2回（WEB併用）R5. 9. 7 15:00～16:40 出席20人（うち委任2人）

◇第3回（WEB併用）R5. 11. 8 15:00～16:40 出席20人（うち委任1人）

◇第4回（WEB併用）R6. 1. 10 14:00～16:00 出席19人（うち委任1人）

◇第5回（WEB併用）R6. 3. 4 15:00～16:40 出席19人

4 正副会長会

正副会長会は、原則として毎月1日を定例開催として12回開催し、常任理事会及び理事会並びに支部長会への上程議題をはじめ、会務運営の基本的事項について審議した。

開催日は次のとおり。

R5. 4. 3、5. 1、6. 1、7. 3、8. 1、9. 1、10. 2、11. 1、12. 6、R6. 1. 9、2. 1、3. 4

5 支部長会

支部長会を5回開催した。

◇第1回 R5. 6. 7 15:00～17:00 出席18人（構成員18人、以下同じ）

1. 支部長会長の選任について
2. 支部会議出席謝金の検討について
3. 総会の運営について

◇第2回 R5.8.2 15:00~16:30 出席18人

1. 謝金支払いに関する財務部会の検討結果について
2. 令和6年度通常支部会の開催日程について
3. 社会貢献事業部からの推薦依頼について
4. 令和5年度無料相談会の開催について

◇第3回 R5.10.4 15:00~15:50 出席18人

1. 企画部「会員からの意見聴取（旧事業説明会）」の協力依頼について
2. 年金相談業務市町村相談員のウインドマシン運搬手当について

◇第4回 R5.12.13 15:00~16:30 出席17人

1. 年金相談業務市町村相談員のウインドマシン運搬手当について
2. 支部会議出席手当の支給について

◇第5回 R6.2.8 15:00~16:00 出席17人

1. 令和6年度通常支部会・通常総会関係の報告依頼について

6 監査

監査を2回開催した。また、支部監査の事務説明のため支部監事との連絡会議を開催した。

監査 R5.4.14 令和4年度の業務・会計の監査

中間監査 R5.10.25 令和5年度（上半期）の業務・会計の監査

支部監事連絡会議 R6.2.26 本会監事3人、支部監事17人、本会役員他5人

II 連絡協議会

1 行政機関等との連絡協議会等

※補足 愛知労働局並びに東海北陸厚生局等との連絡協議会は、当初事業計画に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の後影響等諸般の事情により開催を見送った。

2 関係団体連絡協議会

関係団体として愛知県社会保険労務士政治連盟（以下「政連」という。）、成年後見センター愛知、中央SR、三河SR、(株)あいち社労保険センターの5団体との連絡協議会を2回開催し、本会からは正副会長、専務理事及び事務局長が出席した。

◇第1回 R5.7.21

◇第2回 R6.3.8

3 連合会中部地域協議会

連合会中部地域協議会が開催する次の会議に出席した。

◇6月定例会 R5.6.15 本会出席役員8人 開催地 ANAクラウンプラザホテル富山（富山県富山市）

◇11月定例会 R5.11.15 本会出席役員8人 開催地 ひだホテルプラザ（岐阜県高山市）

4 名古屋自由業団体連絡協議会

名古屋自由業団体の構成団体として、同団体が開催する会議に出席した。

- ◇自由業フレッシュマンフォーラム10’ R5. 6. 2 本会会員参加者19人 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前
- ◇中堅フォーラム R5. 11. 15 本会会員参加者23人 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前
- ◇大学生のための資格業ガイダンス R5. 10. 12 担当出席者3人 名城大学
R5. 11. 29 担当出席者4人 名古屋大学
R5. 12. 5 担当出席者5人 愛知大学
- ◇生活お困りごと無料相談会 R6. 1. 21 相談員含担当出席者6人 名古屋ナディアパーク
- ◇定例会
 1. 第126回 R5. 9. 6 本会出席役員4人 愛知県司法書士会（以下同じ）
 2. 第127回 R5. 11. 1 本会出席役員4人
 3. 第128回 R6. 3. 22 本会出席役員4人

5 隣接士業等との意見交換会

愛知県弁護士会とは平成17年度から、愛知県行政書士会とは令和3年度から、日本労働組合総連合会愛知県連合会（以下「連合愛知」という。）とは平成25年度から毎年1回交流の場を設けている。

- ◇愛知県弁護士会との意見交換会 R6. 2. 27 本会出席役員8人 愛知県弁護士会館
- ◇愛知県行政書士会との意見交換会 R6. 3. 8 本会出席役員9人 愛知県社会保険労務士会館
- ◇連合愛知との意見交換会 R5. 8. 22 本会出席役員9人 ワークライフプラザれある

6 愛知県「働き方改革」に向けた関係機関連絡協議会

愛知労働局が主管となる愛知県「働き方改革」に向けた関係機関（本会の他、愛知労働局、愛知県、名古屋市、愛知県経営者協会、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、（一）名古屋銀行協会、愛知県信用金庫協会、（公）愛知労働基準協会、（公）あいち産業振興機構よろず支援拠点、（独）労働者健康安全機構愛知産業保健総合支援センター、名古屋税理士会、東海税理士会）による連絡協議会に関係役員が出席した。

- ◇令和6年度愛知県「働き方改革」に向けた関係機関連絡協議会 R6. 2. 1 本会出席役員1人 愛知労働局

7 個別労働紛争解決制度関係機関連絡協議会

個別労働紛争解決制度を運用している機関・団体（本会の他、愛知労働局、愛知県産業労働部、愛知県労働委員会、名古屋地方裁判所、愛知県弁護士会、日本司法支援センター愛知地方事務所、中央労働委員会事務局中部地方事務所）による連絡協議会（愛知個別労働紛争解決制度関係機関協議会）に、関係役員が出席した。

- ◇令和5年度個別労働紛争解決制度関係機関連絡協議会 R5. 9. 8 本会出席役員1人 愛知労働局

8 その他関係機関等

- (1) 愛知県医療勤務環境改善支援センターが運営する協議会（第1回 R5. 5. 24 愛知県医師会館、第2回 R5. 10. 16 昭和ビル）に関係役員が出席した。
- (2) 愛知県就労支援連絡会議（第1回 R5. 5. 30、第2回 R6. 3. 15 両日ともKKRホテル名古屋）

に關係役員が出席した。

(3) 令和5年度寄り添い弁護士制度による社会復帰支援モデル事業検討委員会（第1回 R5.5.9、第2回 R6.2.16 両日ともアイリス愛知）に關係役員が出席した。

(4) 令和5年度愛知県再犯防止連絡協議会（R5.9.14 アイリス愛知）に關係役員が出席した。

(5) ㈱あいち社労保険センターとは、本会会館の運営に関する事項について、正副会長が出席して連絡調整のための協議会を5回行った。

〔開催日〕 ・R5.6.1 ・R5.7.21 ・R5.9.28 ・R5.11.30 ・R6.2.29

Ⅲ 事業

1 本会の事業

(1) 社会保険労務士法制定55周年記念行事の挙行

社会保険労務士法制定55周年記念式典、記念講演 R6.2.22 愛知県産業労働センター（ウインクあいち）

出席者数 記念式典・記念講演（元衆議院議員金子恵美氏）266人（来賓11人）、記念パーティー258人（来賓7人）

(2) 全体研修の実施

重要事項や会員の関心度が高い事項をテーマとして正副会長会が所掌し全会員を対象に行う全体研修を開催した。開催した研修と受講者数は次のとおり。

◇医療労務コンサルタント養成研修 R5.7.26 受講及び認定修了者32人

◇過去の医療労務管理研修修了者を対象としたフォローアップ研修 R5.10.21 受講126人

◇インボイス制度研修会

第1回 eラーニング研修（受講期間は R5.8.1～R6.1.31）受講会員数329人

第2回 eラーニング研修（受講期間は R6.2.21～R6.6.30）受講会員数46人（R6.3.31 現在）

◇特定社会保険労務士の資質向上のための能力担保研修 R5.9.12、R5.11.7 申込者148人

(3) 入会オリエンテーションの実施

ア. 新規に入会した会員を対象に、正副会長等により社会保険労務士の心構え等の倫理、本会事業の案内、説明並びに關係団体役員（政連及び中央SR又は三河SR）による關係団体の事業を案内する入会オリエンテーションを5回開催した。

イ. 入会オリエンテーションの第2部として、入会会員が所属する支部長等から支部別に出席新入会員に支部事業等の案内を行った。

(4) 日本年金機構「年金相談窓口等の運營業務」の受託

ア. 年金事務所等における年金相談窓口等運營業務として、県内16か所の年金事務所において令和5年4月から令和6年3月まで、延6,670人が従事した。

イ. 市区町村等の施設で実施する出張相談業務として、県内4市5ヶ所の施設において令和5年4月から令和6年3月まで、延234人が従事した。

(5) 官署（所）等協力事業

ア. 愛知労働局（支部管轄の労働基準監督署及び公共職業安定所）での労働保険年度更新事務の協力事業を、關係支部を通じて行った。

イ. (財)愛知県社会保険協会の依頼を受けて、県内10カ所の年金事務所等において開催された社会保険事務講習会に相談員として延10人の会員が従事した。

(6) 全国社会保険労務士会連合会関係

ア. 令和5年度通常総会が令和5年6月30日「パレスホテル東京」（東京都）において開催され、本会からは連合会理事として杉田貴信、鬼頭和裕、市川孝友、木村美恵子、大津章敬の5人

の正副会長及び常任理事と連合会通常総会代議員として副会長から武讓二、木村省吾、秋野恭子、常任理事から高橋克輔、桑山忠孝、長坂英樹、水野勝康、船間廣治、夏山勇、彦坂雅司、支部長から小嶋美教、永井亨、井上滋昭（以上敬称略）の13人が出席又は議決権行使した。なお、付議議案はすべて提案どおり承認可決された。

- イ. 日本年金機構から運営委託を受けて平成22年1月から始まった街角の年金相談センター名古屋及び栄の管理運営業務を愛知運営部として行うとともに、15人の会員が両相談センターにおいて輪番により一般年金相談業務に従事した。
- ウ. 現在、連合会の研修課程による倫理研修は、受講対象者が自ら直接連合会のeラーニングを受講し習得、修了する方法となっており、そのためパソコン操作に不慣れな受講対象会員のため、希望者にはパソコンの貸し出しや操作指導、また受講時の手順の助言等により対象会員への受講を支援した。
- エ. 企業主導型保育事業における労務監査の委託事業に会員の協力を得て履行した。
- オ. 社会保険労務士国家試験事務に協力した。
- カ. 紛争解決手続代理業務試験事務を履行し、これに伴う特別研修を運営した。
- キ. 社会保険労務士賠償責任保険制度の周知及び加入勧奨に協力した。
- ク. 全国社会保険労務士国民年金基金への加入勧奨に協力した。
- ケ. 「ビジネスと人権」と社労士に関する研修の実施に協力した。

(7) その他

会館における主な大規模修繕として、会館駐車場の舗装修繕工事（R5.8月施工）と会館変圧器内の機器等交換工事（R6.2月施工）を行った。

2 各部・委員会の事業

(1) 総務部 部会を5回開催した（ただし、小委員会は令和6年1月以降の開催について記載。（以下同じ。）。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 R5.4.11 15:00~17:00 出席13人（うち委任1人）（構成員13人、以下同じ）

- 1. 令和4年度新入会員歓迎式の反省について
- 2. 令和5年度通常総会の開催について

◇第2回（WEB併用）R5.7.24 15:00~16:45 出席13人（うち委任1人）

- 1. 当部の構成員について
- 2. 令和5年度通常総会開催結果について
- 3. 令和5年度事業計画について
- 4. 部会開催日程について

◇第3回（WEB併用）R5.10.20 15:00~17:00 出席13人（うち委任2人）

- 1. 謝金支払細則の制定について
- 2. 諸規程の見直しについて

◇第4回 R5.12.15 15:00~17:15 出席13人（うち委任2人）

- 1. 令和6年度事業計画および予算案について
- 2. 令和5年度新入会員歓迎式について
- 3. 会長選挙実施規則の改正について
- 4. 宛名ラベル等発行事務取扱内規の制定について

◇第5回（WEB併用）R6.2.15 15:00~17:25 出席13人（うち委任1人）

- 1. 令和5年度新入会員歓迎式について
- 2. 諸規程の見直しについて
- 3. 令和6年度通常総会の準備について

□主な事業

- ア. 通常総会、その他の各種役員会議が円滑に進行するようその運営を支援した。
- イ. 令和5年度の新規入会会員に対し入会歓迎式を令和6年3月2日（土）サイプレスガーデンホテルで開催し、関係役員65人と新入会員41人が出席した。
- ウ. 諸規程の改正を行った。
- エ. 会員名簿（ホームページ版）を定期的に更新し、会員の利便性向上に努めた。
- オ. 該当会員に会長褒章、慶祝金、弔慰見舞金を贈呈した。
- カ. 官署（所）に掲示する名札板について、必要に応じた整備・補充を行った。

(2) 財務部 部会を7回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（WEB併用）R5.4.12 15:00～16:15 出席13人（構成員13人、以下同じ）

- 1. 令和4年度決算について
- 2. 令和5年度収支予算案について
- 3. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて

◇第2回（WEB併用）R5.7.20 15:00～17:00 出席13人

- 1. 当部の構成員について（自己紹介等）
- 2. 所掌事項の確認について
- 3. 令和5年度事業計画の確認について
- 4. 会議出席謝金について
- 5. 令和5年度予算の執行状況について
- 6. 令和5年度通常総会の執行状況について
- 7. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて

◇第3回（WEB併用）R5.10.13 15:00～16:50 出席13人

- 1. 会議出席謝金について
- 2. 令和5年度予算の執行状況について
- 3. 令和6年度予算編成方針について
- 4. 予算折衝会議について
- 5. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
- 6. 支部会計幹事連絡会議について
- 7. 中間監査について

◇第4回（書面決議）R5.11.1 議決権行使13人

- 1. 支部会議出席手当の旅費交通費について
- 2. 支部事業従事報酬について

◇第5回（WEB併用）R5.12.7 15:00～17:00 出席13人（うち委任2人）

- 1. 令和5年度予算の執行状況について
- 2. 予算折衝会議について
- 3. 謝金支払細則について
- 4. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて
- 5. 支部監事連絡会議について

◇第6回（WEB併用）R6.1.18 15:00～17:00 出席13人（うち委任2人）

- 1. 令和5年度予算の執行状況及び執行見込について
- 2. 令和6年度収支予算案について
- 3. 謝金支払細則の検証・見直しについて
- 4. 会費の収納状況及び会費未納者の取扱いについて

5. 支部監事連絡会議について

◇第7回（WEB併用）R6.3.14 15:00～17:00 出席13人（うち委任1人）

1. 令和5年度予算の執行状況並びに執行見込について
2. 令和6年度収支予算案について
3. 謝金支払細則に係る謝金の検討について
4. 会費の収納状況及び会費未納者の取り扱いについて
5. 支部監事連絡会議について

□主な事業

- ア. 令和5年度決算報告書及び令和6年度予算案を作成した。
- イ. 予算折衝会議において、各部・各委員会と令和6年度予算について協議した。
- ウ. 会費未納入者に対し納入を督促した。
- エ. 法的手段をもって未収会費の徴収に努めた。
- オ. 会費の納入における口座引落しの方法への移行手続きを勧奨した。
- カ. 会務運営に貢献する会員に対する謝金制度について検討した。
- キ. 大規模災害に対する災害対応基金等を積み立てた。
- ク. 支部会計幹事との連絡会議を開催した。
- ケ. 支部監事との連絡会議を開催した。

(3) 研修部 部会を6回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（WEB併用）R5.7.7 10:00～12:10 出席13人（構成員13人、以下同じ）

1. 部員の自己紹介
2. 令和5年度 事業計画について
3. 部長・副部長の役割分担について
4. アンケートの実施について
5. 本会研修・随時研修企画について
6. 令和5年度 専門コース研修について
7. 令和5年度 第1回本会研修について
8. 援助や配慮が必要な方へのサポート体制について
9. 認定スタディグループについて
10. 支部研修オンライン化支援制度について

◇第2回（WEB併用）R5.8.22 10:00～12:05 出席13人

1. 8月30日第1回本会必須研修の運営について
2. 専門コース研修申込状況報告
3. スタートダッシュ講座企画状況
4. 第1回随時研修企画状況報告
5. 社会保険手続き・給与計算等基礎講座企画状況報告
6. ステップアップ研修企画状況報告
7. 会員アンケートの中間集計結果の確認と分析
8. 認定スタディグループ支援制度運営状況報告
9. 支部オンライン化支援制度運営状況報告
10. 次回までに企画が必要な研修
11. 次々回までに企画が必要な研修

◇第3回（WEB併用）R5.9.11 10:00～12:05 出席13人（うち委任1人）

1. 8月30日第1回本会必須研修の運営振り返り

2. スタートダッシュ講座企画状況
3. 第1回随時研修企画状況報告
4. 社会保険手続き・給与計算等基礎講座企画状況報告
5. ステップアップ研修企画状況報告
6. 第2回本会必須研修
7. 第2回随時研修
8. 認定スタディグループ支援制度運営状況報告
9. 支部オンライン化支援制度運営状況報告

◇第4回（WEB併用）R5.11.9 15:00～17:10 出席13人（うち委任1人）

1. 受付中の研修の申込状況確認
2. 研修参加者増加に向けた対応検討
3. ステップアップ講座企画状況
4. 社会保険手続き・給与計算講座企画状況
5. 第2回本会研修企画状況企画
6. 第2回随時研修企画状況
7. 認定スタディグループ支援制度運営状況報告
8. 支部オンライン化支援制度運営状況報告
9. 来年度の研修計画検討
10. 研修申込時のメールアドレス収集

◇第5回（WEB併用）R6.1.15 15:00～17:05 出席13人（うち委任1人）

1. 令和5年度第2回随時研修
2. 令和5年度第2回本会研修
3. 令和5年度認スタ発表会
4. 支部研修オンライン化支援金申込状況
5. 令和6年度事業計画案
6. 令和6年度担当設定
7. 令和6年度上期実施研修のテーマ検討

◇第6回（WEB併用）R6.3.7 15:00～17:00 出席13人

1. 認定スタディグループ発表会等報告について
2. 支部研修オンライン化支援金制度状況報告
3. 来年度の研修企画状況の報告
4. 来年度の会議開催日程の検討

□主な事業

ア. 会員の資質向上のため、次の研修を行った。

(1) 本会研修

第1回「3時間で学ぶ【現代労働法の最重要論点】と社労士に求められる役割」、「社会保険労務士を取り巻く環境変化とその使命」（R5.8.30 ウィンクあいち）対面研修に会員602人が受講し、この後のオンデマンド研修（受講期間はR5.9.15～R6.1.9）に361人が受講（他県会会員204人受入受講）

第2回「ハラスメントの法律知識と現場の実践方法」（R6.2.28 ウィンクあいち）対面研修に会員113人が受講し、この後のオンデマンド研修（受講期間はR6.2.14～R6.5.12）に41人が受講（R6.3.31現在）

(2) 専門コース研修

i) 業務基礎

- ・スタートダッシュ研修 eラーニング研修 全6回（内2回は対面でも開催）／受講会員数46人（他県会会員38人を受入受講）
 - ・社会保険手続・給与計算等基礎講座 eラーニング研修 全6回／受講会員数50人が（他県会会員76人を受入受講）、会場での対面研修（R6.3.20）に会員13人が受講
 - ii) 社労士事務所経営ステップアップ講座 eラーニング研修 全5回（内1回は対面でも開催）／受講会員数42人（他県会会員31人を受入受講）
 - iii) 労務実務研修 eラーニング研修 全6回／受講会員数308人（他県会会員66人を受入受講）
- (3) 随時研修

第1回【令和版】社長は労働法をこう使え具体的ケースに基づく労働トラブルの傾向分析と社労士に求められるアドバイス」 eラーニング研修（受講期間は R5.11.1～R6.2.12）受講会員数341人

第2回「システム障害等トラブルに学ぶ社労士事務所のIT化推進のポイント」 eラーニング研修（受講期間は R6.2.1～R6.5.6）受講会員数92人（R6.3.31 現在）

(4) 連合会中部地域協議会主催研修

i) 労務管理研修(R5.10.26 名鉄グランドホテル)対面研修に会員55人が受講し、この後のオンデマンド研修(受講期間は R5.11.～R6.3.31)に125人が受講

ii) 東海4県特別研修(R6.2.16 TKP ガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口)対面研修にて会員31人受講し、この後のオンデマンド研修(受講期間は R6.3.1～R6.5.31)に47人が受講（R6.3.31 現在）

(5) 支部オンライン研修

10本の支部研修を本会会員サイトに順次アップし、オンラインによる会員間の支部研修の共有を行った。

イ. 認定スタディグループ

認定スタディグループとして6グループ、準認定スタディグループとして3グループを認定し、各グループ構成会員の自己研鑽を促し研究活動を支援した。

[認定スタディグループ（括弧は認定番号、以下同じ）]

- ・(R5-1) 新芽社労実務基礎勉強会
- ・(R5-2) メタ&テレワーク新労務管理研究会
- ・(R5-3) SDGs 研究会
- ・(R5-4) 医療労務管理研究会
- ・(R5-5) SR-SK
- ・(R5-6) 若葉・年金スキルアップゼミ

[準認定スタディグループ]

- ・(準 R5-A) 労働契約法探求スタディ
- ・(準 R5-B) 働くことに夢を持てる授業の研究会
- ・(準 R5-C) 外国人雇用管理勉強会

認定スタディグループ研究成果発表会を開催し(R6.2.22 ウィンクあいち)、各グループが研究活動の成果を発表した。

(4) 広報部 部会を6回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(WE B併用) R5.4.5 14:00～17:35 出席13人(うち委任1人)(構成員13人、以下同じ)

1. 中部経済新聞(令和5年度)の名刺広告について
2. WE B広告(令和5年度)について
3. ラジオCM(6月)について
4. 日本経済新聞(6月)の名刺広告について
5. デジタルサイネージ(6月)について

6. 部・委員会紹介ビデオの制作について
7. 中部経済新聞への提供記事（7月）について
8. 会報（6・8月号）の準備について

◇第2回（WEB併用）R5.7.25 14:00~17:00 出席13人

1. 当部の構成員について（自己紹介）
2. 所掌確認と事業運営について（引継ぎ）
3. インターネット広告（令和5年度）について
4. 中日新聞の名刺広告（12月）について
5. ラジオCM（11・12月）について
6. デジタルサイネージ広告（11月）について
7. テレビ塔広告（12月）について
8. 中部経済新聞の名刺広告（10月）について
9. PRグッズの選定について
10. 中部経済新聞への提供記事（10月）について
11. 会報（10月号）の準備について
12. 部会開催日程について

◇第3回（WEB併用）R5.9.11 14:00~17:00 出席13人

1. インターネット広告（無料相談会）について
2. デジタルサイネージ広告（11月）について
3. 中日新聞（12月）の名刺広告について
4. ラジオCM（11・12月）とラジオ取材について
5. PRグッズの選定について
6. 中部経済新聞への提供記事（10月）について
7. チラシの作成について

◇第4回（WEB併用）R5.11.14 14:00~17:25 出席13人（うち委任1人）

1. 日本経済新聞（2月）の名刺広告について
2. ラジオCM（4月）について
3. デジタルサイネージ（令和6年度）について
4. 中部経済新聞（令和6年度）の名刺広告について
5. 部・委員会紹介ビデオの更新について
6. 次年度の事業計画案と予算案について
7. インタビューボードとロールアップバナーの制作について
8. チラシの作成について
9. 中部経済新聞への提供記事（2月）について
10. 会報（1月号）の準備について

◇第5回（WEB併用）R6.1.15 14:00~17:20 出席13人（うち委任1人）

1. WEB広告（令和6年度）について
2. 日本経済新聞の名刺広告（6月）について
3. ラジオCM（6月）について
4. デジタルサイネージ（6月）について
5. 次年度の事業計画案と予算案について
6. 中部経済新聞への提供記事（5月）について
7. 会報（4月号）の準備について

◇第6回（WEB併用）R6.3.18 14:00~17:30 出席13人

1. 中部経済新聞（令和6年度）の名刺広告について
2. 次年度の事業計画案と予算案について
3. WEB広告（令和6年度）について
4. 日本経済新聞の名刺広告（6月）について
5. デジタルサイネージ（6月）について
6. 広報活動の報告について
7. 部・委員会紹介ビデオの調整について
8. 中部地域協議会キャラクター名の公募について
9. 中部経済新聞への提供記事（5月）について
10. 会報（4月号）の準備について

□主な事業

ア. 会報誌「SR Bridge」を5回（第239号から第243号）発行した。

イ. 制度PRのため新聞に名刺広告と企画記事を掲載した。

(1) 日本経済新聞

i) 令和5年6月23日朝刊「労働保険料申告納付・社会保険算定基礎届（愛知・岐阜・三重3県共同掲載）／本会参加会員105人

ii) 令和6年2月29日朝刊「会長座談会」（愛知・岐阜・三重3県共同掲載）／本会参加会員58人

(2) 中部経済新聞

i) 令和5年10月26日「社会保険労務士業務」（愛知単独掲載）／本会参加会員29人

ii) 令和5年4月、7月、10月、令和6年2月に社会保険労務士業務に関する記事を提供了した。

(3) 中日新聞

令和5年12月2日朝刊「社会保険労務士の日」（三重県会との共同掲載）／本会参加会員295人

ウ. 制度PRのため、東海ラジオとCBCラジオで15秒スポットCMを放送した。

・入社・異動時期で令和5年4月3日から20日までの期間中に14本。

・定時決定・年度更新時期で令和5年6月1日から28日までの期間中に20本。

・社会保険労務士の日時期で令和5年11月9日から12月10日までの期間中に54本。

エ. 令和6年2月22日、ウインクあいちで東海ラジオの生放送番組の取材に応じた。

オ. 一宮駅、豊橋駅、春日井駅でデジタルサイネージ広告を放映した。

・定時決定・年度更新時期で令和5年6月1日から30日までの期間中

・社会保険労務士の日時期で令和5年11月1日から30日までの期間中

カ. 令和5年12月1日から31日まで、名古屋テレビ塔において電光掲示板による30秒広告を240回放映した。

キ. Yahoo! JAPANでのインターネット広告を令和5年4月から令和6年3月まで実施した。

ク. 部・委員会紹介ビデオを制作し、会員に対して部・委員会活動の周知に供した。

ケ. 本会及び岐阜県会、三重県会の広報担当役員による広報連絡会議をWEB併用で6回開催し、3県会合同の広報活動を協議検討した。

コ. 名古屋自由業団体主催の会議や行事に参加した。

(5) 企画部 部会を6回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（WEB併用）R5.7.11 10:00~12:00 出席13人（うち委任3人）（構成員13人、以下

同じ)

1. B C Pの取り組みに関する検討について
2. 事業説明会について
3. 企画部事業について
4. 次回企画部開催日程
5. 緊急連絡先について

◇第2回（WEB併用）R5.8.8 13:30~15:30 出席13人（うち委任3人）

1. B C P研修開催とオンデマンド配信について
2. 事業説明会に代わるWEB上での意見交換について
3. 執行部との懇親を深める場の必要性について
4. 新規事業企画案について

◇第3回（WEB併用）R5.9.14 10:00~12:00 出席13人（うち委任2人）

1. B C P研修講師を招いた事前打ち合わせについて
2. 事業説明会に代わるWEB上での意見受付について
3. 執行部との懇親を深める交流会開催について
4. 新規事業企画案について

◇第4回（WEB併用）R5.10.10 13:30~15:20 出席13人（うち委任4人）

1. B C P研修開催とオンデマンド配信について
2. 正副会長との交流会について
3. 事業説明会に代わるWEB上での意見受付について
4. 来年度の事業計画と予算案について
5. 新規事業企画案について

◇第5回（WEB併用）R5.12.4 15:00~16:20 出席13人（うち委任3人）

1. 正副会長との交流会について
2. WEB意見募集とB C P研修の受講申込報告について
3. 新規事業企画案について
4. 来年度の事業計画と予算案について

◇第6回（WEB併用）R6.3.5 10:00~11:30 出席13人（うち委任4人）

1. 正副会長との交流会の反省について
2. 事業説明会に代わるWEB上での意見受付について
3. B C P事業について
4. 事業承継に関する事業について
5. 新規事業計画案について
6. 来年度の事業計画と予算案について

□主な事業

ア. 会員に対し事業説明会（正副会長との交流会）を令和6年2月10日（土）サイプレスガーデンホテルで開催し、会員91人が出席した。

イ. 社会保険労務士の自身事務所における事業継続計画（B C P）作成に関する検討を進めた。

その中で、会員向けにB C Pを周知する目的の研修を令和6年1月13日（土）に実施し、対面研修に会員25人が受講し、この後のオンデマンド研修（受講期間はR6.3.1~R6.8.31）に42人が受講（R6.3.31現在）。

ウ. 会員からの意見を本会ホームページ（会員専用サイト）にて募集し、回答を本会ホームページに掲載した。

(6) **業務部** 部会を5回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 R5.5.15 15:00~17:00 出席13人（構成員13人、以下同じ）

1. 令和5年度専門業務登録員の登録について
2. 令和5年度上半期総合労務相談室相談員の選任について
3. 令和5年度くらしの行政・法律相談所相談員の選任について
4. 講師紹介について

◇第2回（WEB併用）R5.7.28 15:00~17:10 出席13人

1. 副部長の指名と部員の自己紹介について
2. 令和5年度事業計画について
3. 令和5年度下半期総合労務相談室相談員の募集について
4. 講師紹介について
5. 社労士の日無料相談会について
6. 部会開催日程について

◇第3回（WEB併用）R5.9.19 15:00~17:00 出席13人（うち委任1人）

1. 社労士の日無料相談会について
2. 令和5年度下半期総合労務相談室相談員の選任について
3. 講師紹介について
4. 令和6年度事業計画案及び予算案について

◇第4回（WEB併用）R5.12.14 15:00~17:10 出席13人（うち委任1人）

1. 令和6年度事業計画案及び予算案について
2. 社労士の日無料相談会について
3. 令和6年度専門業務登録員の募集内容について
4. 令和6年度上半期総合労務相談室相談員の募集内容について
5. 令和6年度くらしの行政・法律相談所相談員募集内容について
6. 講師派遣について

◇第5回（WEB併用）R6.3.15 15:00~17:00 出席13人（うち委任1人）

1. 令和6年度事業計画案及び予算案の確認について
2. 令和6年度専門業務登録員の募集案内について
3. 令和6年度上半期総合労務相談室相談員の募集案内について
4. 令和6年度くらしの行政・法律相談所相談員募集案内について
5. 講師派遣について

□主な事業

- ア. 令和5年度の専門業務登録員の登録（125人）を行った。
- イ. 公的機関等外部からの講師、相談員依頼に対し専門業務登録員を派遣又は紹介した。名古屋市、その他団体等に延94人の登録員を派遣又は紹介した。
- ウ. 毎週火曜日に総合労務相談室を開設し、延100人の相談員が441件の相談に応じた。
- エ. 社会保険労務士の日無料相談会の経費支弁及び配布品等を支援した。無料相談会は各支部において全22か所で開設し、支部相談員延107人が528件の相談に応じた。

(7) **勤務等部** 部会を4回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（WEB併用）R5.7.1 10:00~11:50 出席13人（うち委任1人）（構成員13人、以下同じ）

1. 当部の構成員について
2. 今年度の事業について

3. 次回講演会について
4. 今後の部会開催予定について

◇第2回（WEB併用）R5.9.9 10:00～11:40 出席13人（うち委任1人）

1. 本日の勤務等部講演会について
2. 次回からの勤務等部主催講演会の募集方法について
3. 勤務等部設立10周年記念講演会について
4. 来年度予算について

◇第3回（WEB併用）R5.11.11 10:00～11:30 出席13人

1. 本日の勤務等部講演会の準備について
2. 勤務等部講演会の参加者募集方法について
3. 次回の講演会について
4. 来年度予算について
5. 小規模講演会の実施について
6. 愛知会以外の勤務部との交流について
7. 新入会員歓迎式の体験談講師の選出について

◇第4回（WEB併用）R6.2.10 10:00～11:30 出席13人

1. 本日の勤務等部講演会の準備について
2. 来年度予算報告について
3. 来年度の勤務等部の事業について

□主な事業

勤務等講演会を3回開催した。

第1回「ワークショップ方式で学ぶ介護離職を防ぐ職場環境づくり」（令和5年9月9日（土））出席28人（会場28人）

第2回「継続できる社会保険労務士とは」「多様化する定年後の雇用形態の対応策」（令和5年11月11日（土））出席70人（会場47人、WEB23人）

第3回「持続可能な退職金制度への提言」（令和6年2月10日（土））出席95人（会場54人、WEB41人）

(8) **社会貢献事業部** 部会を3回、小委員会を1回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 R5.7.18 15:00～17:00 出席23人（構成員23人、以下同じ）

1. 部会の構成員について（自己紹介等）
2. 令和5年度各種事業について
3. 出前授業講師・がん患者就労支援相談員支部長推薦依頼について
4. 出前授業事業小委員会・その他事業小委員会

◇第2回 R5.12.6 15:00～17:00 出席23人（うち委任1人）

1. 来年度の事業計画と予算案について
2. 出前授業事業の進捗状況報告等について
3. その他事業の進捗状況報告等について

◇第3回 R6.3.15 14:00～16:00 出席23人（うち委任3人）

1. 来年度の事業計画と予算案について（最終報告）
2. 出前授業事業報告について
3. その他事業報告について
4. 来年度への引継について

◇小委員会〔その他事業小委員会〕(WEB併用) R6.1.22 10:00~12:00 出席13人(構成員13人)

1. 令和5年度がん就労支援相談員研修会について
2. その他議題について

□主な事業

ア. 愛知県等に労働条件審査の実施(岡崎市1件・蒲郡市2件)並びに当会への委託に向けた働きかけをした。

イ. 出前授業を中学校(14校)高等学校(17校)及び大学、専門学校等(16校)で実施し、延103回の講義に44人の会員が講師として出向き、計5,631人の児童、生徒、学生が受講した。

ウ. 出前授業事業のため、各支部から推薦があった講師推薦の意見交換会を開催し、会員37人が出席した。

エ. 県内の自治体と大規模災害時に被災した市民等に本会として労務や社会保険について相談支援を提携する協力協定(「大規模災害時における労働・社会保険等の相談に関する協定書」)を2市町と締結し、協定を締結した自治体は22市町となった。

[令和5年度に協定を締結した市町(括弧内は締結日)]

- ・尾張旭市(R6.3.28)
- ・豊明市(R6.2.15)

[既に協定を締結している市町]

- ・武豊町(R4.8.18)
- ・犬山市(R3.9.22)
- ・豊川市(R3.3.27)
- ・みよし市(R3.1.21)
- ・蒲郡市(R2.11.2)
- ・豊橋市(R2.8.19)
- ・大府市(R2.7.31)
- ・日進市(R2.7.7)
- ・津島市(R2.3.31)
- ・稲沢市(R2.2.20)
- ・愛西市(R1.12.17)
- ・小牧市(R1.7.26)
- ・南知多町(R1.5.17)
- ・長久手市(R1.5.14)
- ・半田市(H31.3.22)
- ・常滑市(H30.8.6)
- ・春日井市(H30.4.27)
- ・名古屋市(H29.10.12)
- ・一宮市(H29.10.3)

オ. 県内にある病院等19施設において、がん患者の就労支援相談を実施し、延174人の相談員が263件相談に応じた。

カ. がん患者就労支援事業のため、各支部から推薦があった相談員推薦の勉強会を開催し、会員36人が出席した。

キ. 愛知学院大学及び名城大学で「産官民提携講座」に基づき講義を行った。11人の会員が講師として30回の講義を行い、約132人の学生が所定の単位を取得した。

◇愛知学院大学 講義テーマ「働く上で知っておきたいワークルール」全15回

◇名城大学 講義テーマ「働く上で知っておきたいワークルール」全15回

(9) 年金事業部 部会を6回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(WEB併用)R5.7.6 15:00~17:00 出席12人(うち委任1人)

(構成員12人、以下同じ)

1. 部会の所掌事項・令和5年度事業計画・予算の確認について
2. 研修スケジュールの確認・講師選定等について
3. 部会開催日程について

◇第2回(WEB併用)R5.9.15 15:00~17:00 出席12人(うち委任2人)

1. 研修・ガイダンスの振り返りについて
2. 直近研修の講義内容等最終確認について
3. 12月以降研修・ガイダンスの日程、講師、講義内容について
4. 研修・ガイダンスの部員の役割について

◇第3回（WEB併用）R5.10.16 15:00～17:00 出席12人

1. 令和6年度事業計画（案）および予算（案）の方向性について
2. 令和6年度研修計画（案）の方向性について
3. ガイダンスの講師選定および研修・ガイダンスの最終確認について
4. 年金事務所担当幹事へのアンケート結果の考察について
5. 未来の相談員名簿・リアル相談員名簿（仮）への掲載基準について
6. 年金事務所担当幹事との連絡協議会の開催の可否について
7. 日本年金機構との連絡協議会について

◇第4回（WEB併用）R5.12.4 15:00～17:00 出席12人（うち委任1人）

1. 研修の振り返りについて
2. 令和6年度研修体系およびスケジュール（案）について
3. 令和6年度事業計画および予算（案）について
4. 相談員名簿および求人票について
5. 連絡協議会へ向けての年金機構への要望事項について

◇第5回（WEB併用）R6.1.17 15:00～17:00 出席12人（うち委任1人）

1. 令和6年度事業計画（案）および予算（案）の確認について
2. 研修の振り返りについて
3. 今後の研修等の最終確認および令和6年度上半期の研修について
4. 年金事務所担当幹事との連絡会議の報告について
5. 年金事務所相談員育成に関する検討事項について
6. 日本年金機構への要望事項について

◇第6回（WEB併用）R6.3.1 15:00～17:00 出席12人（うち委任4人）

1. 研修等の振り返りについて
2. 令和6年度上半期研修等の講師の選任について
3. 年金相談員の検討事項について
4. 日本年金機構への要望事項について

□主な事業

ア. 会員の年金業務に係る資質向上のため、各種研修を実施した。

- (1) 年金A研修（全3回）／対面研修とオンデマンド研修に会員516人が受講
- (2) 年金B研修（全3回）／対面研修とオンデマンド研修に会員267人が受講
- (3) 年金研修レベルアップコース（全2回）／対面研修とオンデマンド研修に会員134人が受講
- (4) 年金研修プロフェッショナルコース／対面研修（R5.12.16）とオンデマンド研修（受講期間はR6.1.16～R6.3.18）に会員41人が受講
- (5) 年金相談員フォローアップ研修／対面研修（R5.11.4）に会員12人が受講
- (6) 年金相談員スキルアップ研修／eラーニング研修（受講期間はR6.3.18～R6.5.17）に会員89人が受講
- (7) 年金業務新人向けガイダンス（2回開催）／第1回 対面研修（R5.6.3）に会員39人が受講／第2回 対面研修（R6.2.17）に会員35人が受講
- (8) 年金相談員新人向けガイダンス（2回開催）／第1回 対面研修（R5.7.15）に会員34人が受講／第2回 対面研修（R6.3.16）に会員30人が受講

イ. 年金相談業務担当幹事との連絡会議（R5.12.4）を開催し関係会員20人が出席した。

(10) 法務・社会保険労務士業務改革委員会 委員会を4回開催した。開催日時、出席状況、議題

は次のとおり。

◇第1回（WEB併用）R5.8.4 15:00～17:00 出席14人（うち委任3人）（構成員14人、以下同じ）

1. 当委員会の構成員について（自己紹介）
2. 所掌確認と事業運営について（引継ぎ）
3. 令和5年度事業計画について
4. 会長からの諮問事項について
5. 委員会開催日程について

◇第2回（WEB併用）R5.10.25 15:00～17:00 出席14人（うち委任1人）

1. 本年度の検討テーマについて
2. 来年度の予算編成について

◇第3回（WEB併用）R6.1.23 15:00～17:10 出席14人（うち委任3人）

1. 独占業務について
2. 連合会の業務侵害行為の取り組みについて
3. 次年度予算について
4. 業務侵害に関するアンケートの実施について

◇第4回（WEB併用）R6.3.6 15:00～17:00 出席14人（うち委任1人）

1. 業務侵害への対応について

□主な事業

会長の諮問を受け「業務侵害」について検討した。

(11) 電子化推進委員会 委員会を5回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（WEB併用）R5.8.4 15:00～17:10 出席13人（構成員13人、以下同じ）

1. 当委員会の構成員について（自己紹介）
2. 所掌確認と事業運営について（引継ぎ）
3. 会員サイトのリニューアルについて
4. DXフェアの実施について
5. 委員会開催日程について

◇第2回（WEB併用）R5.10.3 15:00～17:20 出席13人（うち委任1人）

1. 会員サイトのリニューアル進捗状況とデータ移行について
2. DXフェアの運営について
3. 研修案内等文書に代えるメルマガでの対応について

◇第3回（WEB併用）R5.10.30 15:00～16:50 出席13人（うち委任3人）

1. リニューアルサイトの操作確認について

◇第4回（WEB併用）R5.12.5 15:00～16:55 出席13人（うち委任1人）

1. 次年度の事業計画と予算について
2. DXフェアの運営について
3. リニューアルサイトの実演について

◇第5回（WEB併用）R6.2.5 15:00～16:40 出席13人（うち委任2人）

1. 次年度の事業計画案と予算案について
2. DXフェアの段取りについて
3. 新会員サイト制作の進捗状況について

□主な事業

ア. メルマガを6回（第154号から第159号まで）配信した。読者数は令和6年3月31日現在で

1,622人。

イ. 本会ホームページの公式サイトと会員専用サイトを運用した。

(<https://www.aichi-sr.or.jp>)

ウ. 令和6年度からの新会員サイト運用に向け、開発準備と試用を実施した。

エ. 令和6年2月22日にDXフェアをウインクあいちにて開催し、セミナーと業務ソフト展示会を行った。出展企業は12社、会員とその職員計102人が参加した。

(12) **ADR運営委員会** 委員会を5回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 R5.7.3 15:00~15:30 出席7人(構成員7人、以下同じ)

1. 今年度の事業計画について
2. 現あっせん人候補者実務研修について
3. 下期労働トラブル相談室相談員について

◇第2回 R5.9.1 15:15~15:45 出席7人

1. 下期労働トラブル相談室相談員について
2. 労働トラブル相談室チラシ案について
3. あっせん人の定年制について

◇第3回 (WEB併用) R5.11.1 14:30~15:00 出席7人

1. あっせん人候補者実務研修について
2. 令和6年度のADR諸手数料について
3. 来年度事業計画及び予算案について

◇第4回 R6.1.9 14:00~15:00 出席7人

1. 来年度事業計画及び予算案について
2. あっせん人候補者定年制について
3. あっせん手数料無料化について

◇第5回 R6.3.8 14:00~15:00 出席7人

1. 来年度事業計画及び予算案について
2. あっせん人候補者定年制について
3. 労働トラブル相談室予定表について

□主な事業

ア. センター愛知の運営に係る諸事項を審議した。なお、センター愛知あっせん手続き等事業結果(令和5年4月1日~令和6年3月31日)は、あっせん受理件数3件、和解1件、不応諾2件、打切り1件、年度内のあっせん手続の終了4件(うち1件は前年度受理分の繰越)、センター愛知への問合せ及び個別労働紛争等に関する相談353件であった。

イ. センター愛知あっせん手続時にあっせん人となる候補者を対象に、あっせん人候補者実務研修(R5.10.24)を実施した。

ウ. センター愛知のパンフレット、チラシを関係機関等に配布した。また、センター愛知ホームページにより機関PRに努めた。

エ. 業務基礎研修において、若手会員向けにセンター愛知の機関PRを行った。

(13) **監察綱紀委員会** 委員会を1回開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回 R6.3.8 15:00~16:00 出席13人(うち委任3人)(構成員13人)

1. 監察綱紀の現状について
2. 令和6年度事業計画と予算案について

(14) **会館運営特別委員会** 委員会を5回開催した（設置からでは通算70回）。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（通算第66回）R5. 6. 14 15:50~16:20 出席17人（構成員17人、以下同じ）

1. ㈱あいち社労保険センターとの協議会について
2. 会館駐車場の再舗装修繕工事について
3. 会館運営における当面の課題等について

◇第2回（通算第67回）R5. 8. 2 16:35~17:45 出席17人

1. センター賃貸料変更の覚書について
2. 建物診断の結果について
3. 電気設備の修繕について
4. 会館運営における当面の課題等について

◇第3回（通算第68回）R5. 10. 4 16:10~17:15 出席17人

1. センター共益費の覚書について
2. 会館の修繕計画について
3. 電気設備の修繕について
4. 会館運営における当面の課題等について

◇第4回（通算第69回）R5. 12. 13 15:00~16:00 出席17人（うち委任2人）

1. センターとの協議会（11月30日）について（報告）
2. 会館耐震診断について
3. 令和6年度会館関係予算について
4. 令和6年度当委員会事業計画案及び予算案について
5. 会館運営における当面の課題等について

◇第5回（通算第70回）R6. 2. 8 16:00~16:30 出席17人（うち委任2人）

1. ㈱あいち社労保険センターとの協議会について（報告）
2. 会館運営における当面の課題等について

□主な事業

- ア. 今後の会館運営について、総合的な見地から方向性を審議した。
- イ. 会館の施設設備等、主に会館の修繕に係る諸事項を審議した。
- ウ. (株)あいち社労保険センターとの連絡調整事項を審議した。

(15) **事業開発運営特別委員会** 委員会を1回（設置からでは通算21回）開催した。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（通算第21回）R6. 2. 29 15:00~16:40 出席4人（構成員4人）

1. 令和6年度愛知労働局委託事業の対応について

□主な事業

- ア. 本会が受託するに適切な委託事業を調査した。
- イ. 愛知労働局から入札告示された「令和6年度中小企業・小規模事業者等に対する働き方改革推進支援事業」に応札した。

(16) **法制定55周年記念事業特別委員会** 委員会を6回開催した（設置からでは通算8回）。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回（通算第3回）(WEB併用) R5. 4. 26 15:00~17:10 出席13人（構成員13人、以下同じ）

1. 記念式典・パーティーの会場について

2. 記念表彰の表彰基準について
3. 記念講演の講師について
4. 記念パーティーの余興について

◇第2回（通算第4回）（WEB併用）R5.9.8 15:00～17:25 出席13人（うち委任1人）

1. 記念表彰候補者の選出について
2. 記念式典の来賓について
3. 記念講演の演題について
4. 記念パーティーの余興について
5. 記念行事とのコラボイベントについて
6. 記念行事の案内と申込み方法について

◇第3回（通算第5回）（WEB併用）R5.11.8 13:00～14:55 出席13人（うち委任2人）

1. 記念表彰受賞者の確定について
2. 政治連盟との協議による記念式典の来賓と進行について
3. 記念パーティーの余興（クイズ大会）について

◇第4回（通算第6回）（WEB併用）R6.1.16 13:00～16:00 出席13人

1. 申込み状況について
2. 記念表彰について
3. 来賓について
4. 次第の作成について
5. 招待状の発送について
6. 式典の配席について
7. パーティー会場の配置について
8. 備品（借用・持込）の準備について
9. 予算配分について
10. 記念パーティーの余興（クイズ大会）について
11. 役割分担と進行について

◇第5回（通算第7回）（WEB併用）R6.2.14 15:00～17:05 出席13人

1. 申込み状況について
2. 式典とパーティーの会場配置について
3. 備品の確認と予算執行見込について
4. シナリオと進行について
5. クイズ大会の準備について

◇第6回（通算第8回）（WEB併用）R6.3.21 15:00～16:50 出席13人（うち委任4人）

1. 法制定55周年記念事業の報告について
2. 法制定55周年記念事業の振り返りについて

□主な事業

ア. 社会保険労務士法制定55周年記念行事を令和6年2月22日ウインクあいちにて挙行了た。

(1) 記念式典・記念講演に会員266人、来賓11人が出席した。

(2) 記念パーティーに会員258人、来賓7人が出席した。

イ. 社会保険労務士法制定55周年記念式典にて、愛知労働局長感謝状を2人に、全国社会保険労務士会連合会会長褒彰として功労者表彰を47人に、感謝状を5人に授与した。

ウ. 社会保険労務士法制定55周年記念講演に、講師として元衆議院議員の金子恵美氏を招聘し、「優秀なリーダーの共通点～許すチカラ～」を題とした講演を行った。

エ. 懇親パーティーの余興として支部対抗クイズ大会を行い、三河西支部が優勝し、第2位名

古屋南支部、第3位尾張支部の順位となった。

オ. 次期周年事業のため、今回の諸行事における反省点等をまとめ、会長に報告した。

(17) **選挙管理委員会** 委員会を3回開催した(通算4回)。開催日時、出席状況、議題は次のとおり。

◇第1回(通算第2回 WEB併用) R5.4.12 15:00~16:00 出席19人(うち委任3人)(構成員20人、以下同じ)

1. 立候補者の資格審査について
2. 選挙当日の各委員の役割分担について

◇第2回(通算第3回) R5.5.16 15:00~16:15 出席19人

1. 総会当日の流れについて

◇第3回(通算第4回) R5.6.8 16:00~17:15 出席18人(うち委任6人)

1. 総会当日の反省点について

3 支部の事業

(1) 会議の開催状況

ア. 令和5年4月に各支部において通常支部会を開催した。

イ. 支部事業の運営のため、幹事会等の支部役員による会議を定例又は臨時に開催した。

(2) その他の事項

ア. 労働、社会保険諸法令に係る研修、社会保険労務士業務に係る研修等、各支部の研修事業案に基づき、支部会員の幅広いニーズに添った研修を行った。

イ. 官署(所)等協力事業として、支部管轄の労働基準監督署及び公共職業安定所、また年金事務所等、各支部と官署(所)等との緊密な連携、協力協議に基づき、業務の遂行等に協力した。

ウ. 本会与密接な連携の下、令和5年12月に社労士の日無料相談会を支部事業として実施した。

また、その他の時期においても各支部事業として無料相談会を必要に応じ開催した。

エ. 会員間の親睦を図り、また知識見聞を深めるため、懇親会、見学会・研修旅行、その他レクリエーション等の親睦行事を各支部において実施した。